

七ヶ浜グローバルPROJECT

～世界を見据えて，地域に根差す～

**宮城県七ヶ浜町立小学校
英語コミュニケーション科
児童・保護者調査結果 報告書**

令和7年3月

七ヶ浜町立 亦楽小学校

松ヶ浜小学校

汐見小学校

I 児童調査

調査の目的

この調査は、英語をツールとして用いるコミュニケーション力（英語を通して自分の頭で考え、自分の言葉で意見や考えを伝え合うことができる力）を育成することに臨み、英語コミュニケーション科の授業を「明るく楽しく面白い」の切り口で創り、「英語嫌いの児童を出さない」観点から振り返るとともに、①授業の精度を上げること②中学校英語科への土台を作ることに資するためのものです。

設問 1 英語コミュニケーションの授業は楽しいですか。

《低学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令 4	58%	22%	10%	10%
		80%		20%	
	令 5	48%	42%	9%	1%
		90%		10%	
	令 6	57%	41%	1%	1%
		98%		2%	
3 年間平均		89%		11%	
松ヶ浜小	令 4	71%	21%	5%	3%
		92%		8%	
	令 5	72%	10%	2%	16%
		82%		18%	
	令 6	68%	23%	9%	0%
		91%		9%	
3 年間平均		88%		12%	
汐見小	令 4	64%	28%	7%	1%
		92%		8%	
	令 5	62%	32%	6%	0%
		94%		6%	
	令 6	78%	15%	5%	2%
		93%		7%	
3 年間平均		93%		7%	

【踏み込んだ聞き取り、記述による回答】

[楽しい理由]

・英語での単語の言い方を知ることができるから。 ・他の国の食べ物やあいさつの仕方を知る

ことができるから。 ・歌を歌うことが楽しいから。 ・英語を覚えられるから。
 ・ビンゴが楽しい。 ・英語を言うのが楽しいから ・カルタやクリスマスツリーなどの遊び
 のような活動が楽しい。 ・英語の歌が楽しいから。 ・言えるようになった英語でゲームを
 するのが楽しい。 ・ALT の先生が知らない英語を教えてくれるから。
 ・楽しいゲームができるから。 ・いろいろなものの英語の言い方が分かるから。
 ・覚えた英語を使って話すのが面白いから。 ・覚えた英語でいろんなことができるのが楽しい。
 ・クリスマスの歌を歌うのがたのしい。 ・英語をどんどんしゃべれるようになるのが楽しい。
 ・クリスマスバスケットが楽しい。 わくわくする。
 ・みんなの好きなものが分かってうれしい。 ・友達とゲームをするのが楽しい
 ・英語を覚えるのが楽しい。 ・難しい英語を言えるようになるから楽しい。
 ・将来アメリカに行ったときに役に立つと思うからうれしい。 ・ゲームで英語を覚えられる。
 ・ブラブ先生や友達といろいろなことをするのが楽しいです。
 ・外国のことが分かるから。 ・大人になったら外国に行ってみたい。 ・英語でしゃべることがで
 きたから。
 ・ブラブ先生がおもしろい、やさしい。 授業が分かりやすい。 ・英語のゲームが楽しい。
 ・ブラブ先生がいろいろ教えてくれるから。 ゲームをしながら英語を覚えられるから。
 ・英語が上手になったら外国の人とお話ししてみたい。
 ・クリスマスのことを英語で言えるようになったから。
 ・自分が欲しいものや食べたものを伝えるのが楽しい。
 ・数字や果物などの英語の言い方を覚えるのが楽しい。
 ・体を動かしながら英語を話すのが楽しい。 ジェスチャーゲームが楽しい。
 ・ブラブ先生の教え方が分かりやすく、苦手な英語も面白くなる。

【楽しくない理由】

・難しくて分からないから ・コミュニケーションを図らないといけないから。
 ・動物の英語が簡単すぎた。 ・難しい。

【低学年のまとめ】

今年度は、全ての学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が9割を越えて
 いる。さらに、3年間を通して、全ての小学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答して
 いる児童が8割を超え、9割近くである。児童の記述による回答からは、①英語で話すこと
 への好奇心や興味・関心の高さ②英語での言い方を覚える楽しさ ③英語を使ってゲームや
 歌を歌うことの楽しさ ④英語を使うことで友達やALT とコミュニケーションを図れる心
 地よさ等を感じ取れる。さらに「外国に行ってみたい」「外国の人とお話ししてみたい」等
 広い視野でこの英語コミュニケーションを学んでいる様子も分かる。

しかし、「楽しくない」と回答している児童も少なからずいる。その理由として「難しい
 から」「コミュニケーションを図らなくてはならないから」等の回答もある。英語を話すこ
 との楽しさや英語を介してのコミュニケーションを図ることの面白さを感じさせる授業づく
 りを更に工夫していく必要がある。

《中学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令 4	44%	44%	12%	0%
		88%		12%	
	令 5	39%	46%	13%	2%
		85%		15%	
	令 6	64%	30%	4%	2%
		94%		6%	
3 年間平均		89%		11%	
松ヶ浜小	令 4	74%	20%	6%	0%
		94%		6%	
	令 5	40%	47%	8%	5%
		87%		13%	
	令 6	52%	34%	7%	7%
		86%		14%	
3 年間平均		89%		11%	
汐見小	令 4	55%	31%	10%	4%
		86%		14%	
	令 5	42%	42%	14%	2%
		84%		16%	
	令 6	41%	41%	12%	6%
		82%		18%	
3 年間平均		84%		16%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・ いろんな英語をしれるから ・ 色々な勉強、ゲームが楽しいから。 ・ 英語が学べるから
- ・ 外国語を知れるから。 ・ 色々な英語を覚えるのが楽しい。
- ・ ゲームは楽しいし、楽しいだけでなく英語も学べるから良い。
- ・ 英語を友達と一緒に言えて楽しいから。 ・ 友達と活動したり、英語を使ったゲームをしたりするのが楽しい。 ・ 色々な質問を友達にできるから。
- ・ 6人グループで活動したり隠れた物を当てたりするのが楽しい ・ 面白いから。
- ・ アメリカのことはあんまり知らなかったから色々なことが知れて楽しかった。
- ・ テンポがいいから（次々と進んでいくから）。
- ・ ジャガイモゲームや、両端から英語を言っていくゲームで、楽しく英語を覚えられるから。
- ・ 友達と話すのが好きだから。 ・ いろいろな英語のゲームなどが楽しいから。
- ・ 英語でみんなと会話できるし、英語も覚えられるから。
- ・ プラブ先生と会話するのが楽しい。

- ・英語を学ぶのが面白い。 ・英語の言葉が勉強になるから。
- ・友達と一緒に英語で話し合う活動が楽しい。
- ・友達の好きなものも知れるし、ゲームで英語に詳しくなれるから楽しい。
- ・友達と難しい遊びを知るのが楽しいから。
- ・友達とやると緊張が吹っ飛ぶので楽しいです。 ・ワクワクして英語が学べるから。
- ・英語で話せるようになるから。 ・外国のことを知れる。
- ・インタビューゲームが楽しい。 ・遊ぶ感覚でできるから。
- ・次は何を英語で言うのかワクワクするから。 ・英語で会話をすると色々な単語が出てきてとても楽しくなります。
- ・バスケットで遠くに行った時海外の人とコミュニケーションをしたい。
- ・ゲームの種類が豊富で面白い。 ・いろいろなことが知れて、覚えるのが楽しい。
- ・友達同士で話すと、話が弾んで楽しい。 ・友達と一緒にできる。
- ・コミュニケーションが楽しい。
- ・いろいろなゲームができて楽しい。 ・学校で英語が話せてうれしい。
- ・伝え合うのが楽しい ・キャメロン先生がいろいろなゲームをしてくれて、英語で説明してくれるのがうれしい。 ・いろいろなことを英語で話せる。・英語が身につく。
- ・自分が外国に行ったときに話せる。 ・調べた外国について詳しくなる。
- ・友達の得意なことを英語で知れる。・仲良くなれる。
- ・外国が好き。・外国のことを知るといろいろなことに役に立つ。
- ・英語の文字（アルファベット）の学習ができるのがうれしい。
- ・自分の意見を発表するのが楽しい。 ・文章を読んだり書いたりする。
- ・いつか役に立つと思うと楽しく感じる。 ・友達を褒めるといい気持ちになる。
- ・分からない英語を教えてくれる。 ・シンプルな内容で分かりやすい。・英語が好き
- ・他の勉強とは違う楽しさがある。
- ・遊びながら英語を学べて、とてもよい活動だと思います。

[楽しくない理由]

- ・英語が分からないから ・英語をするペースについていけないから。
- ・発音が、難しい。
- ・一人では話せないから。

【中学年のまとめ】

今年度は、全ての学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が8割を越えている。さらに、3年間を通して、全ての小学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が8割を超えており、意欲の継続が分かる。児童の記述による回答からは、ゲームや会話そのものを楽しむことにとどまらず、「英語で伝えたり、コミュニケーションをとったりすることが楽しい」と回答するなど、英語を学ぶことでの視野の広がりを感じる児童も増えていることが分かる。

楽しくない理由には「難しいから」「発音のペースについていけないから」という思いがようである。「明るく、楽しく、おもしろく」の基本を大切にしつつも、児童それぞれの思いに寄り添った指導の工夫をしていく必要がある。

《高学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令 4	50%	35%	15%	0%
		85%		15%	
	令 5	40%	58%	2%	0%
		98%		2%	
	令 6	34%	44%	18%	4%
		78%		22%	
3 年間平均		87%		13%	
松ヶ浜小	令 4	62%	31%	7%	0%
		93%		7%	
	令 5	38%	54%	7%	1%
		92%		8%	
	令 6	36%	47%	17%	0%
		83%		17%	
3 年間平均		89%		11%	
汐見小	令 4	63%	30%	7%	0%
		93%		7%	
	令 5	46%	43%	9%	2%
		89%		11%	
	令 6	58%	31%	8%	3%
		89%		11%	
3 年間平均		90%		10%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・友達と英語で話すのが楽しい。 ・英語の先生が面白いから。
- ・友達と英語でカルタをするのが楽しいから ・
- ・日本と違う文化や食生活などを知れてよかった。
- ・友達と楽しく英語を学べるから。 ・英語で友達と話したりするのが楽しいから。
- ・普段は英語で話したりしないから特別感があって楽しい。
- ・他では学べないことなどが学べるから ・友達といろんなことを喋ること
- ・英語を知れるから。 ・英語を少しずつ言えるようになってきているから楽しい。
- ・今まで分からなかった英語を学べるから。 ・友達とかと英語のゲームなどで話せること。
- ・みんなでやるとより楽しくなって覚えやすいから。
- ・友達と活動できるし、新しいことを覚えられるから。
- ・みんなと関わったりするのが楽しい。 ・先生が盛り上げてくれる。
- ・世界の知らないことを知れるから ・単語練習が楽しいから。

- ・食べ物や物を英語で読むことがとても楽しい
- ・単語をどっちが早く言えるゲームとキーワードゲームが楽しい。
- ・やったことないゲームが楽しい ・コミュニケーションが楽しいから。
- ・友達から、いいねとかレスポンスが返ってくるのがうれしいから楽しい。
- ・友達同士で英語のゲームでなどで遊んで英語を覚えられるから。
- ・英語を使って友達と会話できるから。 ・ゲームもできて英語も学べることで楽しい
- ・外国のことをもっと知りたいから ・外国の文化などが知れて楽しい。
- ・色んな遊びをできて、本物の外国語を知れてとても勉強になるから楽しい。
- ・外国の言葉などをたくさん知れるから たまにあるミニゲームなども楽しい。
- ・みんなと交流出来るから。 ・先生やみんなとおしゃべりするのが楽しい。
- ・確かな英語が分かるから。 ・英語を話すのが好き。
- ・大人になった時に役立つかもしれないし面白いから。 ・クラスの雰囲気が楽しくなる。
- ・第一に英語の先生が面白いし優しくて楽しいと思える。あと英語が好きなのもある。
- ・英語 C を通して、英語の発音や単語を少しずつ覚えていくことで、英語に自信が持てるから。 ・いろんな単語を知り、生かすことができる。 ・英語のことをもっと知りたい。
- ・自分の気持ちを英語で伝えるのが楽しい。・友達と楽しみながら英語を学ぶことができる。
- ・英検の対策になる。 ・ケビン先生とのゲームが楽しい。 ・英語を頑張ろうと思える。
- ・みんなに「good job」と言われるのがうれしい。
- ・ゲーム形式で英語を学べるのがいい。 ・ゲームでドキドキするのがいい。
- ・友達のいろいろなことを英語で話して分かるのがうれしい。 ・友達の発表を聞くのが楽しい。 ・外国のイベントのことが分かるのが楽しい。・外国の文化が日本と違うのが面白い。
- ・将来のために英語は覚えたい。 ・英語を通して友達と仲良くなれる。
- ・「明るく 楽しく おもしろく」のすべてがそろっている。
- ・発表のスライドを iPad で作るのが楽しい。そのときに、英語の文字を打ち込むので、英単語を覚えられてうれしい。
- ・友達や ALT の先生と英語でコミュニケーションをとるのが楽しい。

[楽しくない理由]

- ・つまらないから。 ・英語が得意じゃないから。 ・楽しく学べるのが少ない。
- ・時間が長く感じるから。

【高学年のまとめ】

今年度は、全ての学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が8割から9割近くである。しかし、「とても楽しい」と答えた児童の割合は低・中学年と比較するとやや低い傾向が見られる。また、3年間を通してみると、全ての小学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が9割近くであり、興味・関心、そして英語に対する意欲の継続が伺える。児童の回答からは、「英語を通して、コミュニケーションをとる楽しさと喜び」「外国のことを知れてうれしい」等、英語を学ぶことでの視野の広がりを感じる児童も増えていることが分かる。また、英語の発音や単語を少しずつ覚えていくことのよさを感じる等、高学年ならではの回答も見られた。

しかし、「つまらないから」「楽しく学べるのが少ない」等の回答もあった。今後、更なる知識や表現への充実感が味わえる授業づくりの改善を目指す必要がある。

設問2 英語コミュニケーションで「楽しかった」と感じる活動は、どんな活動ですか。

※複数回答

	活動内容			亦小	松小	汐小
聞く 話す	1 外国人の先生と本物の英語であいさつしたり、話したり、聞いたりする活動	低	R5	71%	56%	59%
			R6	60%	72%	66%
		中	R5	33%	45%	33%
			R6	35%	22%	36%
		高	R5	42%	34%	43%
			R6	23%	28%	54%
	2 友達同士で英語を使ってあいさつしたり、話したり、聞いたりし、「good job」などの言葉で友達のよいところを伝え合う活動	低	R5	71%	58%	59%
			R6	66%	82%	76%
		中	R5	41%	58%	46%
			R6	46%	45%	53%
		高	R5	68%	51%	58%
			R6	39%	47%	64%
聞く 読む	3 外国人の先生と英語のゲームなどで、数字や色の言い方、ものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R5	85%	78%	82%
			R6	78%	97%	76%
		中	R5	53%	70%	62%
			R6	62%	43%	46%
		高	R5	50%	43%	69%
			R6	50%	60%	62%
	4 友達どうして英語のゲームなど数字や色の言い方やものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R5	71%	65%	67%
			R6	82%	88%	79%
		中	R5	53%	71%	66%
			R6	60%	71%	58%
		高	R5	68%	60%	78%
			R6	61%	67%	78%
	5 外国のことを知る活動	低	R5	67%	68%	84%
			R6	57%	82%	59%
		中	R5	29%	46%	47%
			R6	36%	33%	42%
		高	R5	50%	47%	55%
			R6	34%	57%	78%
書く	6 英語の文字（アルファベット）を書いたり読んだりする活動	低	R5	—	—	—
			R6	—	—	—
		中	R5	22%	36%	37%
			R6	36%	26%	42%
		高	R5	32%	27%	40%
			R6	19%	24%	50%

設問3 英語を使ってもっとできるようになりたいことはありますか。 ※複数回答

領 域			亦小	松小	汐小
1 英語で話せるようになりたい。 【話すこと】（発表）	低	R5	79%	61%	79%
		R6	86%	88%	89%
	中	R5	77%	85%	75%
		R6	89%	78%	77%
	高	R5	80%	86%	80%
		R6	85%	88%	88%
2 英語で簡単な意見発表ができるようになりたい。 【話すこと】（やりとり）	低	R5	56%	28%	43%
		R6	55%	75%	59%
	中	R5	33%	38%	35%
		R6	36%	31%	30%
	高	R5	46%	34%	37%
		R6	32%	28%	43%
3 英語を聞き取れるようになりたい。 【聞くこと】	低	R5	83%	36%	76%
		R6	93%	83%	78%
	中	R5	66%	73%	64%
		R6	71%	66%	52%
	高	R5	84%	69%	77%
		R6	67%	74%	78%
4 英語の文を書くことができるようになりたい。 【書くこと】	低	R5	80%	65%	79%
		R6	82%	83%	71%
	中	R5	44%	56%	51%
		R6	54%	53%	34%
	高	R5	68%	59%	58%
		R6	41%	67%	57%
5 英語の簡単な物語や漫画などが読めるようになりたい。【読むこと】	低	R5	68%	71%	72%
		R6	78%	87%	78%
	中	R5	40%	48%	41%
		R6	43%	48%	35%
	高	R5	46%	36%	47%
		R6	27%	35%	54%

Ⅱ 保護者調査

設問

《亦小》お子さんにとって英語コミュニケーションは楽しい取組である。

《松小》お子さんにとって1年生から英語コミュニケーションの授業に取り組むことは有意義だと思う。

《汐小》お子さんは、英語コミュニケーションの授業を楽しんでいる。

学校名	年度	とてもそう思う	そう思う	思わない	まったく思わない	無回答
亦小	令和5	42%	46%	12%	0%	0%
	令和6	39%	51%	8%	2%	0%
松小	令和5	77%	17%	2%	1%	2%
	令和6	86%	13%	1%	0%	0%
汐小	令和5	23%	44%	26%	7%	0%
	令和6	47%	37%	14%	2%	0%

◎学校によって多少の設問の違いはあるが、総じて英語コミュニケーションに対して好意的に受け止め、理解しているといえる。しかし、マイナス評価や無回答も少し見られる。成果をより積極的に発信していく必要がある。

Ⅲ 結果の総括

「明るく 楽しく 面白い」というキャッチフレーズを合言葉に、児童の意欲・関心は毎年高い水準を維持している。「英語コミュニケーションの授業は楽しいですか」への回答は、どの学年でもプラスの評価が多く、低学年からの積み重ねと、町、学校全体の共通認識で指導に当たっていることの成果が大きいと感じる。

踏み込んだ聞き取りや記述からは、児童が英語を話すこと自体に楽しさを感じているとともに、英語を通して新しい知識を得ること、英語を通して友達とコミュニケーションをとってお互いの新たな面を発見することに喜びを見出しているのが分かる。さらに、「英語を通して、外国の文化に触れることが楽しい」「外国のことをもっと知りたい」等、グローバルな見方や考え方をする児童も増えてきている。このことから英語コミュニケーションのねらいとするものが、児童に確実に伝わっていることが伺える。

今後、書くこと、語彙数を増やすことなどを課題としていくときに、どれだけこの意欲を維持していけるのかということとは大きな課題になると思われるが、英語コミュニケーションの目的を明確にした指導を継続することで、より高い効果が得られるようにしていきたい。

以下、児童が英語コミュニケーションの何に喜びを感じ、何を期待しているのかをまとめた。

○：児童の実態 ◇：教師の実態

① アクティビティの内容の工夫

- 英語を使ったゲームそのものの楽しさはもちろんのこと、ゲームを通して味わえる英語を使ったコミュニケーションの楽しさに喜びや心地よさを感じてきている児童が増えてきたと思われる。
- ◇1時間の学び、そして単元全体の学びに必要なアクティビティを配置した。そのアクティビティを通して、何を学ばせるのかという、明確に目的を意識した取組に力を入れた。

② ALTや友達との良好な関係の構築

- 自分の好きなことや感じたことを、英語を使って素直に伝え合う活動を通し、児童はより自分自身のよさや考え方に気付き、相手の新たな一面を知るきっかけになっている。
- ◇担任は、ALTが児童とスムーズなコミュニケーションを図れるように、橋渡しの声掛けを継続し、心地よい関係づくりになるよう心掛けてきた。
- ◇経験の浅いALTには経験の豊富なALTの授業を参観させるなど、授業の組み立てや進め方などを実際に経験してもらえよう、研修の場を工夫した。

③ 4技能5領域を意識した活動

- これまで取り組んできた、「聞く」「話す」活動の積み上げに加え、今年度も「書く」活動や「読む」活動を継続して取り組んできた。「英語で書くこと」「英語で話すこと」に楽しさを感じる児童も増えてきた。
- ◇取組を継続していることで、「聞くこと」「話すこと」の向上が見られる反面、「読むこと」「書くこと」が難しいと感じている児童がでてきているのも事実である。その苦手意識を軽減し、いかに「明るく 楽しく おもしろい」授業づくりを行っていくかを考えていく必要がある。

④ 肯定的な自己像の形成

- 英語でのゲームが楽しいということだけでなく、英語を使ってコミュニケーションを図ることそのものに楽しさを感じる素地ができている。ちょっとした間違いを気にしない雰囲気づくりをALTと担任が工夫している。この雰囲気づくりが、児童それぞれの自分の良さや相手の良さに気付くきっかけとなっている。
- ◇お互いのよさに気付けるような学級の雰囲気づくりを意識し授業づくりをしている。これを土台とした英語を用いたコミュニケーションの楽しさが相乗効果となり、自己肯定感を高める時間となっている。
- ◇振り返りの時間に感想に加え「Why～?」「Because～」を取り入れ、なぜそう感じたのか自分の言葉で表現したことで、充実した学びにつながった。そのことで少しずつ進歩している自分の姿を感じることができている。

本調査結果を、各学校の児童が、どんな思いをもって英語コミュニケーション科の授業に臨んでいるのかを再認識し、児童の姿から今後の授業を考えていく一つの資料とする。

〈令和7年度の英語コミュニケーション科の授業で大切にしたいこと〉

○「明るく、楽しく、面白く」と「豊富な会話量の確保」

「明るく、楽しく、面白く」という考え方を継続し「英語をシャワーのように浴びせ」かつ「豊富な発話量を確保」する授業づくりを意識していく。児童が英語を通してのコミュニケーションの楽しさを感じ、間違いを恐れることなく英語と関われるようにする。

○英語の日常化

日常生活の中に英語コミュニケーション活動を意図的に取り入れる。朝の健康観察、日常の朝や帰りの挨拶、校内の掲示物に英語表記を増やすことなどが考えられる。

○英語科4技能5領域を意識した指導

「聞く」「話す」ことへの意欲の継続を図っていく。また、発達段階に応じた「書く」「読む」の指導の方向性を示していくことも必要になってくる。現在「書くこと」に難しさを感じている児童も多いので、アルファベットに触れる学習を意識的に行っていくことも必要だ。

また、自分の英語力を計る一つの目安として6学年での5級、4級の英検受験の位置付けを明確にし、この受験機会を英語に関わる意識の向上につなげていくことも大切だ。

○英語を通したコミュニケーション力の育成

「自分の思いを、英語を通して伝えるコミュニケーション力の育成」に力を入れていく。そのために、普段からの人間関係づくりはもちろん、英語の語彙を増やすこと、会話の型をみにつけること、リアクションのスタイルを覚えることなどをポイントにしていきたい。

○夢を持たせる単元の設定（異文化理解とICT活用）

英語を通した異文化理解について、調べたことをまとめるためにプレゼンテーションの作成やグループディスカッション等の活動に取り組ませていく。更にこれらの活動が「聞く」「話す」のコミュニケーションの活動になるようにする。その際のICT機器の活用はとても効果的である。こうした活動を通して、自己理解や他者理解を深めるきっかけにしていく。

○「自分はALTとこんな授業を創る」というアイデンティティの確立

ALT との同僚性・協働性といった良好な関係性を保持していく。また担任は、児童と ALT の関係をより良好なものとなるように心掛け、授業者としての存在感を高めていく。ALT はネイティブとして子供への指導を主導し、担任は授業の基本的な指導案を作成し、子供の学びに向かう姿勢をコントロールしていく。授業づくりと授業実践は ALT と担任の TT とする。また、学校間で授業を適宜公開し、英語コミュニケーション科の授業を考える一つの機会とする。